

1 にほんせいこうかいただきりすときょうかいどう 日本聖公会高田基督教会堂 1 棟 [有形文化財（建造物）]

[所在地] 大和高田市本郷町 9 番 27 号

[所有者] 日本聖公会高田基督教会

[名称および員数] 日本聖公会高田基督教会堂 1 棟
附・家具 22 点

[時 代] 明治 22 年(1889)建設、大正 12 年(1923)改修

[概 要]

日本聖公会高田基督教会堂は JR 高田駅南方の商店街の中に所在する明治 22 年建設の教会堂である。

奈良県におけるキリスト教諸派の伝道活動は明治 10 年代に活発となり、聖公会は大阪の川口居留地を拠点として郡山、五條、田原本、奈良に宣教活動を広げた。高田においては明治 19 年(1886)に演説会開催、20 年に教会が設立された。教勢の高揚を受け、翌年には会堂用地を取得、同年 10 月に起工し、明治 22 年 2 月に捧堂式ほうどうしきが挙行されたのが現在の会堂である。

礼拝室は東西に長い長方形平面で、長椅子を配した会衆席の東側奥に聖壇を置く聖所を設ける。礼拝室の架構にはハンマービームトラス(※)を用いて柱や陸梁のない一室空間を設けるとともに、内部の意匠的な特徴としている。

会堂は大正 12 年(1923)に増築されたが、礼拝室前方に当初形式を残す。県内に残るキリスト教建築のうち最も古いとみられ、明治期におけるキリスト教伝道初期の建設であり、奈良県の建築変遷を表する遺構として重要である。

(※ 壁上方に梁をはね出し、対面する壁をアーチで支え陸梁を省略する手法)



内部、西より



上) 正面、西南より
下) 内部、東北より